

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	身体障がい者団体助成費								予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	概要	県内の身体障がい者団体に対する運営経費を助成する。								始期	1952
											終期	
	K P I	各種大会等の参加者数										
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度			R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	10600 人	目標値	2179 人	目標値	2179 人	目標値	人	
		実績値	人	実績値	10518 人	実績値	2400 人	実績値	人	実績値	人	
		ストック /フロー	ストック	達成率	99.2 %	達成率	110.1 %	達成率	%	達成率	%	
	コスト		最終現計 予算額	600 千円	最終現計 予算額	600 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	6 年度	要因分析	要因									
総括												
見直し方向性		維持	コロナの影響により、各種大会等の開催状況が減少傾向であったが、継続して開催することで障がい当事者への効果が見込まれる。引き続きホームページや機関誌等において各種大会等の周知を行うことで参加者数増強を図りながら、8年度も事業を継続していく。									
2	当初	事項	肢体不自由児愛護大会補助金								予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	概要	肢体不自由児愛護大会を開催するための県補助金								始期	1965
											終期	
	K P I	愛護大会参加者数										
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度			R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	100 人	目標値	100 人	目標値	100 人	目標値	100 人	
		実績値	0 人	実績値	53 人	実績値	76 人	実績値	人	実績値	人	
		ストック /フロー	フロー	達成率	53 %	達成率	76 %	達成率	%	達成率	%	
	コスト		最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
	6 年度	要因分析	要因 コロナ禍の大会中止に伴い、大会の認知度自体が低下しているため。									
総括												
見直し方向性		維持	6年度は肢体不自由児が参加しやすい時間帯・会場を選定したところ、目標値は下回ったものの、前年度比40%増の参加者数となったことを踏まえると、引き続き大会開催方法の工夫を検討し、成果の向上を図る。									

3	当初	事項	障がい者権利擁護対策支援事業費							予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	障がい者差別の解決を図る委員会を設置するとともに、専門相談や通報対応等を行う障がい者権利擁護センターを運営するなど、障がい者差別の解消と虐待防止対策を推進する。								始期	2010
										終期	
	KPI	障がい者虐待防止研修の受講者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	250 人	目標値	260 人	目標値	270 人	目標値	280 人
		実績値	265 人	実績値	248 人	実績値	289 人	実績値	人	実績値	人
		ストック/フロー	フロー	達成率	99.2 %	達成率	111.2 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	5,072 千円	最終現計 予算額	5,951 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	4,534 千円	決算額	4,777 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	R6年度はKPIを達成してきているものの、R7年度は開催方法等を見直す方針のため、KPIは同程度の維持を目標として実施予定。								

4	当初	事項	障がい福祉職員処遇改善等支援事業費							予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	障害福祉サービス事業所に対し、福祉・介護職員処遇改善加算の取得に関する助言等を行うことにより、障がい福祉職員の処遇改善を促進するほか、報酬改定に関する相談支援等を実施することにより、報酬算定の適正化を図る。								始期	2019
										終期	2025
	KPI	福祉・介護職員処遇改善加算を取得している事業所の割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	88.4 %	目標値	89.9 %	目標値	91.4 %	目標値	92.9 %
		実績値	86.9 %	実績値	88 %	実績値	87.7 %	実績値	%	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	99.5 %	達成率	97.6 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	3,626 千円	最終現計 予算額	4,434 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	543 千円	決算額	4,434 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因 処遇改善加算の制度自体に改正（加算の一本化、要件変更等）があり、障害福祉サービス事業所数の増加数に対し、福祉・介護職員処遇改善加算を取得した事業所数が増加しなかった可能性がある。									
		総括									
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は目標達成とはならなかったものの、現状のニーズを踏まえると、7年度以降KPI目標達成は考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。								

5	当初	事項	手をつなぐ育成会補助金							予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	県手をつなぐ育成会に対する運営経費を助成する。								始期	1968
										終期	
	K P I	手をつなぐ育成会の正会員数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	990 人	目標値	1000 人	目標値	1010 人	目標値	1020 人
		実績値	981 人	実績値	988 人	実績値	943 人	実績値	人	実績値	人
		ストック /フロー	ストック	達成率	99.8 %	達成率	94.3 %	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	183 千円	決算額	200 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p>要因 コロナ禍以降、活動制限を余儀なくされたことから新規の加入者数は減少傾向にある一方で、現在の会員の高齢化が進んでおり、脱会する方が増加傾向にあることから目標達成に至らなかったと考える。</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	改善	6年度の実績が想定よりも低調であったことに加え、会員の高齢化を加味すると、7年度も同様の状態が見込まれるため、令和7年度は、新規会員獲得に向け、会員向けイベントの取組の内容の拡充や、周知方法の見直しを実施するなど、会の知名度向上に努め、会員数の増加を目指す。								

6	当初	事項	愛媛県手をつなぐ育成会研修大会補助金							予算主管課	障がい福祉課
	事業概要	愛媛県手をつなぐ育成会研修大会を開催するための県補助金								始期	1972
										終期	
	K P I	手をつなぐ育成会研修大会参加者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	人	目標値	100 人	目標値	100 人	目標値	100 人
		実績値	50 人	実績値	人	実績値	110 人	実績値	人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	110 %	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	200 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	千円	決算額	200 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>									
	見直し方向性	維持	コロナ禍後初の通常開催となったが、行動制限等が無くなったことで参加者を増やすことができた。今後も実施内容を見直すことで同程度、また増加を見込めると考えるためKPI目標は維持とする。								